

環境調査結果のお知らせ

平成28年4月7日午前9時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温16～18℃、塩分21～33でした。
透明度は4～6mで、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスとミリオネクタ・ルブラが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温16.1～18.1℃、塩分20.9～32.8でした。
前回調査時(H28.3.10)と比較して、水温は全層で1.1～2.3℃上昇しました。塩分は表層から5m層で0.1～1.2、底層で0.1下降しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量はセンサー不調のため未計測。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.0～5.5mでした。
検鏡の結果、魚類に非常に有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で81cells/ml、二枚貝類を着色させるミリオネクタ・ルブラが最高で7cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

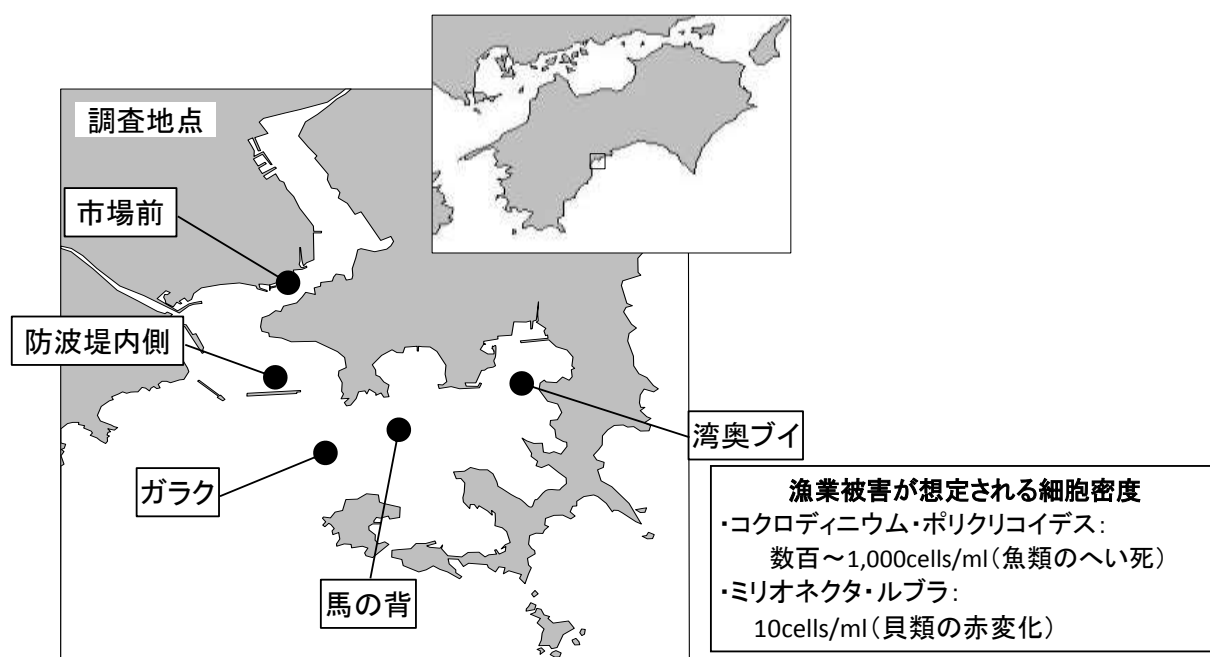


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.3.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	18.1	17.7	17.8	16.1	17.9	15.6	2.3	17.2
2m	17.8	17.6	17.8	17.5	17.7	15.8	1.9	17.2
5m	17.0	17.3	17.4	17.3	17.2	15.8	1.4	17.0
10m	16.8	17.0	17.3	17.1	17.0	15.9	1.1	—
B-1m	16.8	17.1	17.2	17.0	17.0	15.9	1.1	17.0

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.3.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	30.6	31.0	30.8	20.9	30.8	32.0	▲ 1.2	29.2
2m	31.6	31.5	31.4	30.8	31.5	32.2	▲ 0.7	29.6
5m	32.0	32.3	32.2	31.6	32.2	32.3	▲ 0.1	32.0
10m	32.5	32.7	32.6	32.4	32.6	32.6	0.0	—
B-1m	32.6	32.8	32.7	32.5	32.7	32.8	▲ 0.1	32.4

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.3.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m						8.7		
2m						8.6		
5m	—	—	—	—		8.4		—
10m						8.3		
B-1m						8.0		

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.9	24.3	15.3	15.9	11.7
透明度	5.0	5.5	5.0	4.0	2.5
前回(3/10)	5.8	6.9	6.0	2.0	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	コクロディニウム・ポリクロイデス	ミリオネクター・ルブラ	ジャイロディニウム属	珪藻類
		湾奥ブイ	0m	6	7
	2m	2	2	1	850
	5m	81	0	2	850
馬の背	0m	44	1	0	700
	2m	46	2	1	850
	5m	29	1	3	1,250
ガラク	0m	8	4	1	1,250
	2m	2	0	1	2,100
	5m	5	0	1	475
津波防波堤内側	0m	0	4	0	1,200
	2m	8	0	0	1,500
	5m	14	0	0	450
市場前	0m	2	1	1	450
	2m	8	2	0	70
	5m	10	0	3	350